

<私たちの地球環境を守ろう>

オリンピックムーブメントの柱の一つに「環境」があります。

1990年代の初めに地球温暖化や酸性雨、砂漠化などの環境破壊が深刻化したことを受け、環境に関する記述がオリンピック憲章に明記されるようになりました。

持続可能な社会に向け、環境に配慮した行動を行うことが、今こそ、私たち一人ひとりに求められています。

【中野区立明和中学校の取組～ペットボトルキャップ回収】



生徒会が中心となり、ペットボトルキャップ回収を行っています。

世界でワクチンがないために命を落とす子供は、20秒に一人。

ペットボトルキャップを集めて回収業者団体に引き渡すと、回収業者がキャップをリサイクル素材に換え、その売却した利益の一部が、「NPO法人 世界の子供にワクチンを日本委員会」に寄付されます。



「塵も積もれば山となる」
こんなにたくさんのペットボトルキャップが集まりました。

令和3年9月16日に引き渡したペットボトルキャップの個数は、45,000個。重さは90キログラムです。

これで、45人分のワクチンを寄付することができました。



もし、ゴミとして焼却していたら283.5キログラムのCO₂を発生したはず。環境にも優しいですね。

私たちの地球環境を守るためにも、世界の子供たちを病気から救うためにも、引き続き、ペットボトルキャップ回収を行います。

ご協力、お願いいたします。